

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-I-22

4-I-22

| | | | | |
|----------------------------|-----------------------------|---|------|--------------|
| 章 | 第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備 | | 取組項目 | 立入可能・禁止区域の明示 |
| | 節 | I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等 | | |
| 事業(施策)名 | 22 立入禁止区域等の明示 (遺跡近隣、住宅地) | | 事業主体 | 佐渡市世界遺産推進課 |
| | | | 関連団体 | 佐渡市観光振興課 |
| 事業実施期間 | H28～H34 | | | |
| 事業概要 | 【事業目的】 | ○ 遺跡近隣の立入可能・禁止区域を明示することにより、来訪者の安全確保、地域住民の日常生活維持等を図る。 | | |
| | 【事業内容】 | ○ 来訪者の安全と地元住民の生活確保のため、立入禁止や規制を検討し、看板等を設置する。 | | |
| 事業実績 | 【事業成果】 | ● 他地域における取組事例の情報収集、サイン設置に向けた現況の設置状況の把握、想定されるサイン不足箇所の洗い出しなど、今後のサイン等の設置に向けた基礎情報の収集に努めた。 | | |
| | 【課題】 | ■ 構成資産が広範囲に分布することから、効果的な箇所に看板を設置する必要がある。 | | |
| 今後の取組・課題 | 【今後の取組】 | ■ 地元住民や関係機関と連携のうえ、遺跡近隣や住宅地の立入可能・禁止区域を明示し、看板等の設置を行う。 | | |
| | 【事業の達成度】 [a (b) ・ c] | ◇ H28年度は、今後のサイン等の設置に向けた基礎情報の収集・検討期間と位置付けているため、今後の事業展開に向けて一定の成果があったと考える。 | | |
| 【事業実施の効果】 [a (b) ・ c] | | | | |
| 【総合評価】 [A (B) ・ C] | | | | |

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。